

学位被授与者氏名	平尾 一博 (ひらお かずひろ)
論文題目	芸術活動における互報制の観察と実験 (音楽作品の送り手と受け手の距離に着目して)
論文審査結果の要旨	<p>自身の活動の中から、不思議に思うこと、疑問に思うことを論題とし、多様化する音楽作品の制作・配信を対象に、音楽作品の送り手と受け手の間で取引されている「モノ」と、そこにこめられた意味について、互酬制という枠組みを用いて理解しようとして試みたところに研究の意義を見出すことができる。一方で、第一章で互酬制のタイプ別(一般的、均衡的、否定的互酬)に送り手と受け手の距離を説明しているにもかかわらず、第二章以降では論題の互酬制にほとんど触れていない。また、調査分析が、客観性を意識しながら主観的なものにとどまっている点は今後の課題と考える。このため、互酬性の枠組みで捉える提起は評価できるものの、その結果として理解できた内容については十分とは言えない。しかし、芸術活動が作り出す特別な「モノ」を送り手と受け手の間の取引きとして、互酬制の枠組みを用いた検証については評価でき、修士論文の水準を満たしている。</p> <p>平成 26 年 2 月 21 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として認められる内容であると判定した。</p>